

★これまでにない人工知能法のガイドブックです！

人工知能(AI)関連技術の法的実務の課題と対応の方向性

ロボティクス
(自動運転、ドローン、ロボット等)
FinTech、医療、IoTを含む

足羽 教史 著

現在インクリメントP(株)管理部渉外担当部長 / 慶応義塾大学 経済学部卒。 / トヨタ自動車(株)、三菱石油(株)(現 JX 日鉱日石エネルギー(株))を経て現職。法務、知的財産、海外事業、マーケティング、商品・サービス企画、海外営業、人事等様々な職種と業務を経験。総合研究開発機構(NIRA)客員研究員(2015年9月〜)。「風観羽」プログラマー。国際企業法務協会理事。国際企業法務協会内では牧野和夫弁護士と共に「最先端法務研究会」を立ち上げ、共同代表に就任。

牧野 和夫 著

弁護士(日本国及び米国ミシガン州)・弁理士(芝綜合法律事務所)、早稲田大学、琉球大学法科大学院、東京医科歯科大学大学院、明治学院大学法学部・大学院、関西学院大学商学部・法学部、同志社大学ビジネススクールの各兼任講師。 / 早大法学部卒、89年GM工科大学優等修了、91年ジョージタウン大学ロースクール法学修士号、13年ハーバード大学ロースクール交渉戦略プログラム修了。 / いすゞ自動車法務部課長・審議役、アップルコンピュータ法務部長、国土館大学法学部教授、東京理科大学大学院客員教授、尚美学院大学大学院客員教授、大宮法科大学院大学教授、早稲田大学大学院(国際情報通信研究科)講師、内閣司法制度改革推進本部法曹養成検討会委員等を経て現職。英文契約書、知的財産などの著書は67冊を数える。16年人工知能法務問題を企業法務の観点から研究する国際企業法務協会「最先端法務研究会」の共同代表。

発刊 2017年6月
定価 40,700円(税込(消費税10%))
体裁 B5判 187ページ
ISBN 978-4-86502-132-5

・ご購入者へ、著者が主催している「最先端法務研究会」へのお試し参加をご案内しますので、ご希望の場合は、お申込時、必ず備考欄へ、「参加案内希望」の旨をご記載下さい。
※書店は対象外となります

著者より

経営者の視点から、人工知能のビジネス・技術の現状及び今後のグローバルな動向を足羽氏から解説し、それを前提に、法律専門家の視点から、牧野氏から人工知能の事業化にあたっての法律問題と制度設計の在り方を論じており、これまでにない人工知能法のガイドブックになっている。両著者のこれまでの実務経験が十二分に活かされている著作といえる。

本書のポイント

- ・まずは、人工知能の技術を利用したビジネスの現状と向かうべき方向性を明確にしている。
- ・つぎに、その現状及び方向性を前提に、生じてくる現行法上の法律問題と解決策、近い将来の法制度設計の在り方を具体的に論じている。
- ・とりわけ、人工知能の瑕疵により損害を与えた場合の法的責任、人工知能が産み出した知的財産や質くなった人工知能は誰に帰属するか、最後まで問題が残るロボットに刑事責任が問えるかという問題、法律問題では対処が難しい倫理問題などについて分かり易く説明している。
- ・企業のご担当者や専門家のみならず、企業の経営者・管理者・全ての企業人が身に付けておくべき必須の知識と識見を示している。
- ・人工知能のグローバルな急速な動きの中で、日本企業がどのような方向に向かって行くべきか(とくに自動車業界)を可能な限り明らかにしている。
- ・現時点における最新の参考図書や現在開催されている研究会などの有益な情報が満載されており、同じ問題意識を持った専門家とのネットワーク作り役に立てて戴ける。
- ・今後の経営者や管理者向けの幹部研修に役に立つプログラム(全く新しい事業を展開する際に法規制をどのように考えるか)の概要も示されている。
- ・ご購入者は、著者が主催している「最先端法務研究会」へのお試し参加をご案内します。

第0章 はじめに カテゴリーの整理

第1章 第四次産業革命の衝撃

- 1.10年以内になくなる職業
- 2.日米の産業界・消費者業界で一体何が起きているのか・今後何が起きようとしているのか ~企業の置かれている状況の把握
 - はじめに どのような分野・業種へ影響するか
 - 2.1 人工知能(AI)の開発が急速に進んでいることで何が起きようとしているのか?主に米国の動きはどうか
 - 2.2 米国の政府はどのような法的な対応を検討しているのか
 - 2.3 日本政府はどのような対応を検討しているのか
- 3.従来:データは少なく企業ごとに孤立して存在
 - 今後:複雑化し生態系化するデジタルデータ
- 4.すべてがデジタルデータへ!デジタルデータ化がもたらす飛躍
5. 企業の競争は新次元へ!
6. 自動車産業に降る「自動運転車」という隕石

第2章 IoT、ロボティクスと人工知能(AI)・ビッグデータの法的問題と対応(自動運転、ドローン、ロボット等)

- 1.人工知能(AI)やロボットの技術革新は法制度にどのような影響を与えるか
- 2.人工知能(AI)(例えば自動運転車)が人間にケガをさせたら誰が民事責任を問われるか
 - 2.1 発生した損害に対して「誰に」民事責任が発生する可能性があるか
 - 2.2 発生した損害に対して「どのような民事責任(法的責任の根拠・性格)がどのような要件を満たすと発生する」可能性があるか
 - 2.3 発生した損害に対して誰がどのような民事責任を負う可能性があるか
 - 2.4 自立型と非自立型とで民事責任の種類に差異があるか、不可抗力の場合は免責されるか
 - 2.5 不正アクセスにより発生する法的責任
 - 2.6 データやプログラムの提供者の法的責任
 - 2.7 契約上の免責(責任制限)規定はどこまで有効なのか?どこまで免責を受けることができるか?
 - 2.8 損害賠償の予定(違約金)条項の法的効力について
 - 2.9 PL責任が技術革新の障害となるだろうか?
- 3.人工知能(AI)やロボットに刑事責任は問えるのか
- 4.ロボットに正当防衛や緊急避難は適用されるか
- 5.プライバシー保護の問題への対応はどうすべきか
 - 5.1 個人情報保護法の改正(改正法は2017年5月30日施行の予定)
 - 5.2 パーソナルデータの法的規制について
- 6.人工知能(AI)が作った知的財産は誰のものか
 - 6.1 質くなった「人工知能(AI)」は誰のものか?
 - 6.2 知的財産推進計画2016
 - 6.3 3Dプリンターと知的財産権

- 7.今後の人工知能(AI)ビジネスへの企業対応として重要さが増す「契約」とくに「約款」の問題
 - 7.1 実際の契約書の2つのパターン
 - 7.2 約款型と契約当事者間の「書式の争い」
8. プラットフォーマーの支配的地位と独禁法規制
9. デバイスカテゴリ毎の法的課題まとめ(ドローン、3Dプリンタ、ロボット、IoT、自動運転車)
10. 米国運輸省NHTSA Federal Automated Vehicles Policyの衝撃(ポイント及び実務への影響)
11. 自動運転で超えるべき4つの法律問題のハードル

第3章 FinTechと人工知能(AI)・ビッグデータの現状と法的問題

1. FinTechの課題と取り組みについて
 - 1.1 はじめに
 - 1.2 ブロックチェーン活用取引の法的課題について
2. Block Chainの衝撃
 - 2.1 ブロックチェーンに漂う暗雲? / 革新的技術の社会での受容の難しさ

第4章 医療と人工知能(AI)・ビッグデータの現状と法的問題

「遺伝子工学」に革命が起きてる!「ゲノム編集」が凄過ぎる

第5章 人工知能(AI)技術の実用化にあたっての倫理的側面について

人工知能(AI)に絶対に任せてはいけないこと

第6章 情報収集の重要性(アンテナを張り巡らす)

第7章 企業経営、法務・知財部の今後の役割について

1. 雇用への影響、その他の課題への対応
2. 近未来の法律実務家に必須の3要件
3. 社会の承認を得るための未来型コンプライアンス
4. 社員・経営者教育の重要性(法制度ハッカソン)
5. 企業の経営者や管理者はどのように対応して行ったらよいか

第8章 その他最新情報

1. トランプ大統領登壇以降に何が変わるのか・変えるべきなのか
2. トランプ政権の最新動向について

政府公表ガイドライン等のリスト / 参考文献

★書籍申込書

FAX : 03-5740-8766、または、→ <https://johokiko.co.jp/publishing/BA170602.php>

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

(書籍申し込み要領)

- ◎右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- ◎お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- ◎未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- ◎お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- ◎振り込み手数料はご負担ください。
- ★ <https://johokiko.co.jp/>の申込みフォームからも承ります!

書籍名 H P 【BA170602】 人工知能(AI)関連技術の法的実務の課題と対応の方向性 書籍		冊数	___冊	※記入の無い場合は1冊
会社名				
所属部課・役職等				
申込者氏名		TEL		FAX
E-MAIL			上司役職・氏名	
住所〒				
備考				
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送				

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp